

大阪ガスと GPSS ホールディングスによる 中小型の非 FIT/非 FIP 太陽光発電所の開発（第 2 弾）について

2025 年 4 月 22 日

大阪ガス株式会社

GPSS ホールディングス株式会社

大阪ガス株式会社（以下「大阪ガス」）と GPSS ホールディングス株式会社（以下「GPSS」）は、両社による中小型の非 FIT/非 FIP 太陽光発電所（以下「本発電所」）の第 2 弾^{*1}となる開発に合意し、本日、本発電所の運営を行う事業会社である GDsPJ2 合同会社に両社が 50%ずつ出資を行いました。

昨今、再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の導入拡大に伴い、大型の太陽光発電所の新規開発適地が減少しています。そうした中、両社は 2021 年に中小型太陽光発電所の継続的な共同開発に関する合意書を締結^{*2}し、継続的な中小型太陽光発電所の共同開発に向けて協働を行ってきました。

このたび、大阪ガスと GPSS は、経済産業省が公募する「需要家主導による太陽光発電導入促進補助金」^{*3}（令和 6 年度当初予算）を活用し、GDsPJ2 合同会社を通じて、国内 5 か所、合計容量約 7,000kW の太陽光発電所を開発します。本発電所は、2025 年 4 月から順次建設を開始し、2026 年 2 月までの運転開始を目指します。

事業会社	GDsPJ2 合同会社（出資比率：大阪ガス 50%、GPSS 50%）
発電所数	5 か所
発電容量	約 7,000kW（合計）
運転開始時期	～2026 年 2 月（順次運転開始予定）

本発電所の開発により、両社で共同開発してきた太陽光発電所は、合計 17 か所、約 2.3 万 kW となる見込みです。

Daigas グループは、2050 年のカーボンニュートラル実現に向け、国内外で、自社開発や保有に加えて他社からの調達も含めた再エネ普及貢献量^{*4}を 2030 年度までに 500 万 kW に拡大することを目指しており、本発電所を加えると再エネ普及貢献量は約 357 万 kW になります。

GPSS グループは、サステナブルな社会の実現に向けて、太陽光・地熱・水・風・廃棄物など、サステナブルエネルギーによる発電事業を、資源を保有する地域との共同事業で推進しています。

大阪ガスと GPSS は、今後も再エネの普及と持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

- * 1 : 大阪ガス、GPSS ホールディングス、東急(株)グループが共同したコーポレート PPA による太陽光発電所の開発と再エネ電力活用の取り組みについて～「需要家主導による太陽光発電導入促進補助金」に採択～
https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2022/1309698_49634.html (2022 年 9 月発表)
- * 2 : 大阪ガスと GPSS ホールディングスによる中小型太陽光発電所の共同開発に関する合意書の締結について～日本全国の遊休地を活用した新設 FIT・非 FIT 太陽光発電所の開発～
https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2021/1296103_46443.html (2021 年 6 月発表)
- * 3 : 補助事業は、発電事業者である「GDsPJ2 合同会社」が採択されています
- * 4 : 建設中や既に意思決定済みの案件及び FIT 制度の適用電源を含みます

■会社概要

<大阪ガス>

会社名	大阪ガス株式会社
本社所在地	大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号
代表者	代表取締役社長 藤原 正隆
資本金	1,321億6,666万円
設立日	1897年4月10日
事業概要	ガスの製造・販売、電力の発電・販売 等

<GPSS>

会社名	GPSSホールディングス株式会社
本社所在地	東京都港区芝 2 丁目 5 番10号芝公園NDビル 6 階
代表者	目崎雅昭
資本金	2億円
設立日	2019年9月2日 (2012年10月26日に前身会社設立、2019年に当社設立し、持ち株会社化)
事業概要	再生可能エネルギーに関わる開発・EPC・投資 等

以 上